

[質問]
ブランケットと患者の間に
タオルケットなどを挟んで使用してもよいですか？

よくある質問 1

A

[答え]
いいえ。ブランケットと患者の間には、何も挟まずに
患者体表面に直接接触するように使用してください。



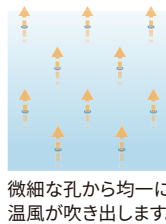
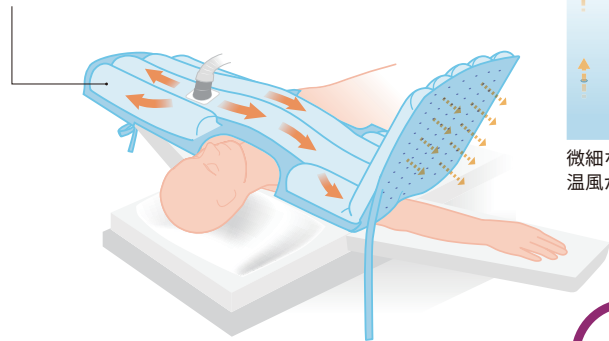
ブランケットと患者体表面の間にタオルケット等を敷くと、
温風の対流が妨げられるため、加温効果が低下します。

3M™ ペア-ハガー™ ブランケットは、
接触面に開いた微小な孔から出る温風が
患者様を包み込むように対流をつくることで
均一に加温できるように設計されています。



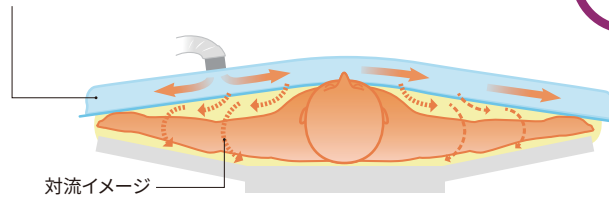
印刷のある面
(孔のある面)
が患者との
接触面です。

3M™ ペア-ハガー™ ペーシエントウォーミング ブランケット



微細な孔から均一に
温風が吹き出します。

3M™ ペア-ハガー™ ペーシエントウォーミング ブランケット



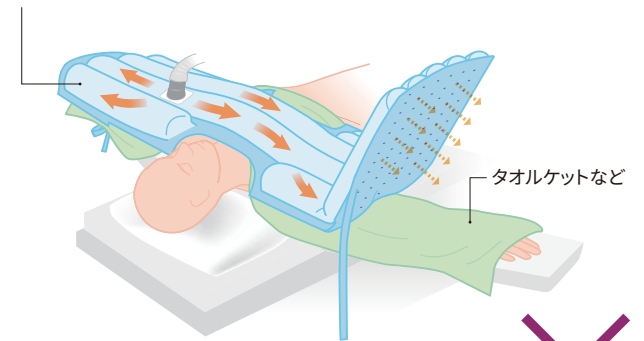
対流イメージ

対流による加温は接触面以外の部分も均一に加温することができます。

タオルケットなどをブランケットと患者体表面の間に挟むと、
温風の対流が妨げられてしまいます。

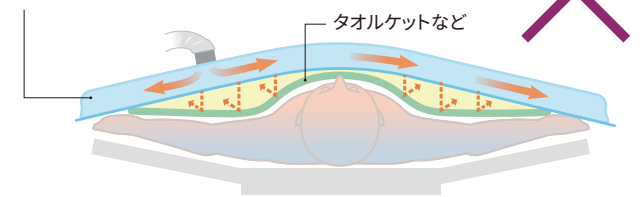
対流が妨げられると、温風が上がりきらない、ムラが起こる
など、適正に加温できなくなる可能性があります。

3M™ ペア-ハガー™ ペーシエントウォーミング ブランケット



タオルケットなど

3M™ ペア-ハガー™ ペーシエントウォーミング ブランケット



タオルケットなど

加温のための対流が妨げられてしまいます。

警告

1. 使用時には必ず指定のエアパッド特定加温装置コントロールユニットのエア-ホースをウォーミングブランケットに接続すること。
[エア-ホースのみによる加温は、熱傷を引き起こすため。]
2. ウォーミングブランケットは、孔の開いている側を患者の体表面に向けて使用すること。[熱傷を引き起こすことがあるため。]
3. 加温中は、患者の体にエア-ホースが触れないようにすること。[加温中はエア-ホース全体が高温になり、接触していると熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
4. ウォーミングブランケットと患者の間にシーツを敷かないこと。[加温性能および安全性に影響するため。]
5. 温度上昇警報ランプが表示され、アラームが鳴った場合は、直ちに使用を中止すること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
6. 患者の体温・皮膚の状態を10～20分おきにモニタすること。バイタルサインに異常または不安定な状態が見られた場合は、直ちに使用を中止すること。
7. 正常体温に回復したり、バイタルサインが不安定になった場合は、設定温度を下げるか、または使用を中止すること。
8. 患者が下記の状態にある場合は、細心の注意を払い、絶えずモニタすること。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
●閉塞性または糖尿病性の著しい末梢血管障害の患者 ●低心拍出量の患者 ●血流状態が悪い患者

禁忌・禁止

1. 再使用禁止
2. 大動脈クランプなどで、四肢の血管が遮断され、虚血状態になっている部位には使用しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。]
3. 本品は、適用機種以外には接続しないこと。[熱傷を引き起こすおそれがあるため。また、本来の性能を損なうおそれがあるため。]

3M、Bair Hugger、ペア-ハガーは、3M社の商標です。

2017年4月発行

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

感染管理製品事業部

<http://www.mmm.co.jp/hc/medical/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.
HPM-567-C(041710)TP

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45～17:15 / 月～金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます